

令和2年第7回 大田原市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和2年6月15日(月)		午後3時00分		
開催場所	403会議室				
会議出席状況	教育長	植竹福二	出席		
	委員	深澤道昭	出席	川上聖子 出席	
		小林朋子	出席	森 泉 出席	
		渡邊英憲	出席		
	事務局職員	教育部長	大森忠夫	生涯学習課長	津久井 静 男
		教育総務課長	高野浩行	文化振興課長	長谷川 操
		学校教育課長	明澤伸宏	スポーツ振興課長	熊田明美
国体推進課長		大島 実	教育情報企画監	尾畑 宏	
書記	教育総務課	伊東佳子、松本一弘			
付議事項	○ 報告 4 件 [報告第 1 号～第 4 号] ○ 協議 件 [協議第 号～第 号] ○ 議案 1 件 [議案第 29 号～第 号]				

1 開 会 午後3時00分

2 前回会議録の承認

3 議 事

- 日程第1 報告第 1号 市内小中学校の臨時休業に伴う授業時数の不足を補うための授業日の設定について
- 日程第2 報告第 2号 令和2年度教育委員会関係補正予算について
- 日程第3 報告第 3号 G I G Aスクール構想実現に向けた I C T活用方針について
- 日程第4 報告第 4号 那須野が原ハーモニーホール指定管理者申請要項の制定について
- 日程第5 議案第 29号 大田原市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について

4 そ の 他

5 閉 会 午後4時3分

6 傍 聴 人 0名

7 会議の要旨 次のとおり

令和2年 第7回 大田原市教育委員会定例会 発言要旨

令和2年6月15日(月) 午後3時00分から

- 教育長(植竹福二君) 　　ただいまから令和2年第7回大田原市教育委員会定例会の会議を開きます。
- 教育長(植竹福二君) 　　第5回定例会及び第6回定例会の会議録は、書記をもって調製させましたので、順次回覧いたします。内容をご確認いただきたいと思います。
- (会議録順次回覧)
- 教育長(植竹福二君) 　　会議録の内容についてご確認いただきましたが、第5回会議録につきましてご承認いただけますか。
- (異議なしの声あり)
- 教育長(植竹福二君) 　　異議はないようでありますので、第5回の会議録は承認されました。続きまして、第6回定例会会議録につきましてご承認いただけますか。
- (異議なしの声あり)
- 教育長(植竹福二君) 　　異議はないようでありますので、第6回の会議録は承認されました。委員会閉会后、ただいまの会議録に署名をお願いいたします。
- 教育長(植竹福二君) 　　本日付議いたします案件は、報告4件、議案1件であります。それでは日程に従い会議に入ります。
- 日程第1 報告第1号 市内小中学校の臨時休業に伴う授業時数の不足を補うための授業日の設定についてを議題といたします。
- 詳細について、学校教育課長から説明をお願いします。
- 学校教育課長(明澤伸宏君) 　　(説明を行う)
- 教育長(植竹福二君) 　　説明が終わりましたので、質疑を行います。
- (質疑を行う)
- 教育長(植竹福二君) 　　質疑はないようでありますので、質疑を終わります。
- お諮りいたします。
- 報告第1号 市内小中学校の臨時休業に伴う授業時数の不足を補うための授業日の設定についてにつきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
- (異議なしの声あり)

- 教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり承認されました。次に、日程第2 報告第2号 令和2年度教育委員会関係補正予算についてを議題といたします。を議題といたします。詳細について、学校教育課長から説明をお願いします。
- 学校教育課長（明澤伸宏君） （説明を行う）
- 教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。
- 委員（川上聖子君） 歳入予算の内容はどうなっていますか。
- 教育部長（大森忠夫君） 事業費の2分の1は補助金でありまして、残りの部分については新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が財源でして、合わせまして歳出額と同額を見込んでいます。
- 委員（深澤道昭君） 購入するものはパソコン端末なのか、タブレット端末なのか未定のようなのですが、どのようになっていますか。
- 学校教育課長（明澤伸宏君） 端末の決定については、できるだけ早く、できれば9月には決定したいと考えております。
- 委員（深澤道昭君） 全国的にも端末を整備するのでしょうか、調達は間に合うのでしょうか。
- 学校教育課長（明澤伸宏君） 国も年度内には調達が可能だとの見込みで予算をつけておりますし、各業者からは一応大丈夫ですとの話は受けております。
- 委員（森 泉君） ネットワークの整備工事はいつ頃に終わりますか。
- 教育部長（大森忠夫君） 工事内容は、ケーブルの敷設、アクセスポイントや充電器の設置等になりまして、7月から着工し、土日を使って3月末までには完了する予定です。また、端末の調達も今年度末までに完了をする予定となっています。
- 学校教育課（尾畑企画監） これまでのケーブルですと大容量のデータを流しきれませんので、ケーブル自体を交換することになります。これにより、子どもたち全員がアクセスをしても通信が止まるといった現象は解消されます。
- 委員（渡邊英憲君） 今回の補正予算は、コロナ対策なのだと思いますが、もし秋冬に第2波が来た場合、今回調達する端末を使つてのオンライン授業は可能ですか。
- 学校教育課長（明澤伸宏君） ネットワーク工事の進捗や端末の調達の具合もありますので、全学校一斉に実施することは難しいと思われれます。

- 教育長（植竹福二君） 現状では、6月議会でも答弁をしましたが、本年度中の第2波が来た場合は、3月から4月に実施したように、学習プリントを配布し、それを回収し、先生がコメントをつけて指導する方法をより拡充するかたちで対応したいと考えています。  
そして、来年度からは、整備したGIGAスクールで対応していこうという考えております。
- 教育長（植竹福二君） その他、質疑はないようですので、質疑を終わります。  
お諮りいたします。  
報告第2号 令和2年度教育委員会関係補正予算についてにつきまして  
は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
- （異議なしの声あり）
- 教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり承認されました。  
次に、日程第3 報告第3号 GIGAスクール構想実現に向けたICT活用方針についてを議題といたします。  
詳細について、学校教育課長及び教育情報企画監から説明をお願いします。
- 学校教育課長（明澤伸宏君） （説明を行う）  
○学校教育課（尾畑企画監） （説明を行う）
- 教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。
- 委員（深澤道昭君） Zoomを利用して学校間の授業も展開するとのことですが、ソフトの利用料は発生しますか。
- 学校教育課（尾畑企画監） 現在各校で使用しているのは無料版でして、時間は40分、人数は50人まで等、制約がある中で使っていて、来年度からこのソフトを使うかどうか未定です。  
ただ、どのようなソフトを使うにしても、授業での使い方は同じですので、次年度が始まった時に、単に遠隔授業をやりましたということだけでなく、教育の効果ですとか、勉強の意欲の湧き方ですとか、具体的な成果を出すため、事前に教員や児童生徒が慣れるような準備が必要だと考えています。
- 委員（深澤道昭君） 利用料がかかるということで、将来的には予算の措置も必要になりますね。
- 学校教育課（尾畑企画監） 基本的に遠隔会議システム自体が、学校教育においても必要不可欠になると想定されます。それがどのような形が望ましいのかは検討されるべきと思います。

- 委員（深澤道昭君） 小規模校間での合同の授業などは、一体感や連帯感が出てくるという期待が持てますね。
- 教育長（植竹福二君） 以前、視察をした際に、遠隔会議の様子を見ましたが、音声が飛んだり、画面が消えたりして、何とも言えない不快さを感じた事があります。
- 学校教育課（尾畑企画監） そのために、GIGAスクール構想による大容量化を整備しまして、スムーズに遠隔会議等ができるようにする必要があります。  
特に黒羽地区では、学校間の距離がありますので、教員間の簡単な会議、ALTの授業等に使用できないか検討を始めています。  
また、湯津上地区の3小学校は、いずれも小規模校ですので、3校による合同学習なども検討されているようです。
- 委員（渡邊英憲君） Zoomを利用した授業ということですが、私も個人的に使用してみました、非常に便利だと感じます。多数が同時に話すことができないので、雑談がしにくく会議の無駄が無くなって早く終わると感じます。先生方の負担が減るかもしれないので、活用することはいいと思います。  
児童生徒がICT機器を使う中で、端末の中のアプリケーションソフトは、オフィスのような共通のものを使うのか、それとも学習内容に応じて教材として次々ソフトを入れたり消したりして使うのか、そのあたりはどのようなイメージですか。
- 学校教育課（尾畑企画監） 「将来の生活や仕事につながる使い方を身につける」という目標が方針にありますから、子どもたちが資料作成したり、調べ物をしたり、発表したりする際には、インターネットを活用していくことになると思います。  
その時に、共通の基盤と言いますか、そういう性格のソフトを使えないことは、目標を達成する流れに乗れない可能性がありますので、基本的にはOfficeソフトを中心に進めていきたいと考えています。
- 委員（渡邊英憲君） インターネットの活用ですが、情報モラルの問題もあわせて考える必要があると思いますが。
- 学校教育課（尾畑企画監） 情報モラル教育については、授業中、学校活動の中でその都度実施することを基本にしています。  
児童生徒にとって、情報モラルだけを別枠で学ぶよりも、授業で端末を使いながら、活動をしながら学んでいくことを中心に考えています。常にICT機器の使用とモラル教育が一体になっているものを目指そうと思います。
- 教育長（植竹福二君） ICT機器による使用制限は可能ですか。
- 学校教育課（尾畑企画監） もちろん制限は可能ですが、抜け道もたくさんありますので、それらも含めて情報モラル教育として対応したいと思います。
- 教育長（植竹福二君） 教員の負担が増えるような気もしますが。

- 学校教育課（尾畑企画監） そのためにも、ICT機器の使用に当たっては、必ず目的、目標を持たないといけません。こういう授業をやりたい、こういうことを話し合わせたいということが重要ですので、そこがしっかりしていないと子どもたちも一生懸命になりませんし、それがなくただ端末をいじるだけになってしまいます。  
ですので、先ほどのZoomによる授業も、きちんと年間の授業計画に位置づけられるように持っていきたいと思います。
- 委員（川上聖子君） 児童生徒1人に1台ということで、「この端末はこの子がずっと使う」ということになるのでしょうか、その方が先生も管理が簡単でしょうし、どうなりますか。
- 学校教育課（尾畑企画監） できれば自分の端末に愛着を持ってもらえるよう、モラル教育も方向づけていきたいと考えています。  
使って良かったという積み重ねが大事で、それが勉強しようという気持ちにもつながりますし、何と言っても学校では授業が一番ですから、これまでの本市ではたくさんの実績がありますので、これらを十分に活かせるかどうかICT教育の成功につながっていくと考えています。
- 委員（深澤道昭君） 与えられた端末は、子どもたちの進級とともに卒業するまで同じものを使うことになりませんか。
- 学校教育課長（明澤伸宏君） 小学校入学から中学校卒業までの9年間となりますと、端末が使えるかどうか問題でして、今後の検討になると思います。
- 学校教育課（尾畑企画監） 4、5年経過すれば、全国的に同じ問題が発生してくると思われれます。
- 教育部長（大森忠夫君） 時間の経過とともに性能は向上しますから、概ね5年程度が使用の限界かとも言われています。  
一番の懸念は、次に買い替える際に今回のようなGIGAスクールの補助金があるかどうかでして、市がすべてを負担しなければならない可能性もありますので、更新の仕方は検討する必要があります。
- 委員（川上聖子君） 今でも電子辞書などは自己購入ですから、パソコン端末は確かに高価ですけど、自分の物としてずっと使うんですよということになれば、例えば半額補助みたいに関心も発生してもいいのではないかと、そういったことも想定してもいいかと思えます。
- 教育長（植竹福二君） 今後安くなっていく可能性はありますか。
- 学校教育課（尾畑企画監） これまでの一般的な端末は、様々な機能を詰め込んで詰め込んで、「いろいろできますよ」ということで高価だったのですが、GIGAスクール構想における端末は、「可能な限り不必要な機能は省いた安価なものを作れますよ」と企業側がアピールする面もありますので、それが全国的に展開されれば、先ほどのような個人所有ということもあり得ると思います。

- 教育長（植竹福二君） その他、質疑はないようでありますので、質疑を終わります。  
お諮りいたします。  
報告第3号 GIGAスクール構想実現に向けたICT活用方針についてにつきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
- （異議なしの声あり）
- 教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり承認されました。  
次に、日程第4 報告第4号 那須野が原ハーモニーホール指定管理者申請要項の制定についてを議題といたします。  
詳細について、文化振興課長から説明をお願いします。
- 文化振興課長（長谷川 操君） （説明を行う）
- 教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。
- （質疑を行う）
- 教育長（植竹福二君） 質疑はないようでありますので、質疑を終わります。  
お諮りいたします。  
報告第4号 那須野が原ハーモニーホール指定管理者申請要項の制定についてにつきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
- （異議なしの声あり）
- 教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり承認されました。  
次に、日程第5 議案第29号 大田原市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱についてを議題といたします。  
詳細について、文化振興課長から説明をお願いします。
- 文化振興課長（長谷川 操君） （説明を行う）
- 教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。
- （質疑を行う）
- 教育長（植竹福二君） 質疑はないようでありますので、質疑を終わります。  
お諮りいたします。  
議案第29号 大田原市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱についてにつきましては、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。
- 教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり可決されました。  
以上をもちまして、本日予定されました案件はすべて議了いたしました。  
なお、その他で何かございますか。

○委員（小林朋子君） コロナウィルス感染症の影響で、学校の各種行事が中止になっていますが、修学旅行についてはどのような方向性になっていますか。

○学校教育課長（明澤伸宏君） 中学校については、例年4月に実施していたものを8月、9月に延期をすることは決定してまして、実際にどのように実施するかについて、今月の校長会の場で、小学校の校長先生も含めて協議すると聞いています。  
また、保護者に対してもアンケートを実施したようでして、その結果も持ち寄りながら、できれば市内で統一した方針を定めたいとのこと。

○教育長（植竹福二君） 他にないようですので、以上をもちまして令和2年第7回大田原市教育委員会定例会の会議を閉会いたします。  
ご苦労様でした。

閉会：午後4時3分

この会議録は、令和2年6月17日に調製されたものであるが、その内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

令和2年7月15日

教育長

委員

委員

委員

委員

委員

調製者